

～令和3年12月静岡県議会定例会における質問～

質問者：曳田 卓 議員

質問日：令和3年12月9日（木）【3番目】

会派名：ふじのくに県民クラブ

項目	1 今後の教育行政の推進について
答弁者	知事
質問要旨	<p>県では、「ふじのくに「有徳の人」づくり大綱」において、本県教育の基本理念を「「有徳の人」の育成」と定めた上で、この基本理念の実現に向け、幅広い施策を計画に掲げ、県と県教育委員会が連携して取り組んでいると承知している。</p> <p>しかし、本県の教育を取り巻く環境は、ここ数年で急速に変化している。例えば、本県においても、少子化が進行し、人口減少が進んでいる。少子化の進行は、社会経済に大きな影響を及ぼすことが懸念される。</p> <p>こうした変化に加え、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、学校も、休業や行事の縮小などを余儀なくされる事態となり、教育に大きな影響を与えている。</p> <p>その一方で、ICTの活用が急速に進展し、学習環境は大きく変化している。</p> <p>また、学校現場においては、いじめや不登校の問題に加え、相対的貧困による経済的格差や、家族の世話を日常的に行う「ヤングケアラー」といった社会的課題が顕在化してきているほか、教員の多忙化の解消も課題となっている。</p> <p>さらに、子どもの虐待やSNSを通じた誹謗中傷なども大きな社会問題となっている。</p> <p>このような急速な環境の変化や顕在化する様々な課題に的確に対応し、魅力ある教育を実現していくことが求められる。</p> <p>来年度から、新たな大綱と計画をスタートさせることになるが、県として、これまでの取組の評価も踏まえ、現在、策定作業を進めている大綱と計画において、どのような教育を目指し、どのような施策に取り組もうとしているのか伺う。</p>

<答弁内容>

曳田議員にお答えいたします。今後の教育行政の推進についてであります。

私は、知事就任以来、「有徳の人」の育成を教育の基本理念に掲げ、地域ぐるみ、社会総がかりの取組を展開してまいりました。人材の育成というのは、社会のどの分野におきましても、最も大きなテーマであると考えております。「有徳の人」の育成は、追求し続けるべき永遠の目標であると考えております。次期大綱においても、この理念は堅持し、「ふじのくに」づくりの礎となる人材育成に全力で邁進してまいり

ます。

次期大綱では、「有徳の人」の具体的な人物像として、「才徳兼備」を掲げたいと思っております。ノーベル賞をとられた真鍋先生のような学才も大切です。また、東京2020オリンピック・パラリンピックで素晴らしいスポーツの才能を見せられたそういう才能も大切です。また、静岡県で総理大臣賞あるいは様々な大臣賞に輝かされている農作物、農業技術士の作る才能も大切であります。本県が直面する課題を解決し、持続可能な社会を実現していくために、自らの個性に応じて能力を磨き、自分や他人を大切にすることを、社会や人のために行動する、「才」を磨き「徳」高める、この「才」と「徳」を兼ね備えた「才徳兼備」の人づくりに取り組んでまいります。

また、誰もが人生の夢を実現し、幸せを実感できるよう、様々な事情を抱える児童生徒の学びの保障、先端技術の進展にも対応できる生涯を通じた学びなど、新たな時代に求められる教育施策を展開し、「誰一人取り残さない教育の実現」を目指してまいります。

こうした基本理念の具現化に向け、次期教育振興基本計画に意欲的な施策を盛り込んでまいります。今後は、先端技術が進展する将来も見据えた教員の指導力の向上、児童生徒の情報モラル教育の充実に取り組むなど、ICTを活用した最善の学びを追求してまいります。

また、多様性に対する意識や、国際的な課題に対する関心の高まりを踏まえまして、多文化共生あるいはLGBTなど、人それぞれに異なる価値観や特性を尊重する教育、環境保全と経済活動の両立を支える人材の育成にも注力してまいります。県民の皆様を持つ多様な個性を生かし、生涯を通じて優れた才能を伸ばす教育を推進することで、国際社会や地域社会に貢献できる人材の育成を目指してまいります。

現在、年度内の策定に向けて、地域自立のための「人づくり・学校づくり」実践委員会をはじめ、多くの皆様から、現計画の評価も踏まえた御意見を頂いて、内容の充実を図っております。総合教育会議における協議を経て策定した後は、県内市町や教育関係団体のみならず、県民の皆様と本県の教育理念を共有し、地域ぐるみ、社会総がかりで、富国徳の美しい“ふじのくに”の未来を担う「才徳兼備」の人づくりを進めてまいります。

その他の御質問につきましては、副知事、関係部局長から御答弁申し上げます。